

# MRI検査にあたっての説明書

## 1 MRI検査について

^MRIとは(Magnetic Resonance Imaging:磁気共鳴画像)の略称です。強力な磁場と電波を利用して、身体の断面像などを見るための検査です。

検査は通常 30分程度かかります。検査中は大きな音がしますので、耳栓などを使用して検査を行います。

金属を身に着けたり持ち込むと、磁力で引っ張られて飛んだり、検査中に加熱される可能性があります。さらに、検査に支障をきたすだけでなく、MRI装置の故障の原因にもなりますので検査前に必ず取り外すようお願いいたします。

検査中はマイクで会話ができますので、不都合がありましたら声に出しておっしゃってください。

MRCP検査(MR胆管膵管撮影)検査を受けられる方

検査の直前に「経口消化管造影剤」を飲んでいただくことがあります。胆管や膵管を描出するのに障害になる、胃・十二指腸に存在する水分の信号を消すために使用します。服用量は250mlで、服用後は便が少しやわらかくなったり、稀に下痢をすることがあります。

## 2 検査の禁忌事項

心臓ペースメーカーを装着している。

体内に磁性体金属がある。(非磁性体の確認ができていれば可能)

『人工弁・人工眼球・人工内耳・脳動脈クリップ・体内ステント・内視鏡止血クリップ等』

手術以外で、眼内等に微細金属片や体内に金属片が残っている可能性がある。

入れ墨やタトゥーをいれている。

妊娠3ヶ月以内、またはその可能性がある方については、胎児への安全性が確立されておりません。

## 3 検査の注意事項

入れ墨やアートメイクは、変色・やけどの報告があり注意が必要です。スタッフとご相談ください。化粧は落としてきてください。

コンタクトレンズは磁性体を含んでいる恐れがあります。検査前に外してください。

眼鏡、ネックレス、イヤリング、ピアス、指輪、ヘアピン、ベルト、補聴器、入れ歯、ブラジャー、鍵、エレキバン、使い捨てカイロ、経皮吸収貼付剤(ニトロゲム等)などは外してください。

携帯電話、腕時計、キャッシュカード、定期券、診察券、などを持ち込むと使えなくなる可能性があります。その場合の責任は持てませんので、絶対に持ち込まないでください。

閉所恐怖症の方は、程度にもよりますので、担当医と相談してください。

## 4 検査前の飲食について

骨盤部の検査時は検査30分前より排尿しないでください。

チェックしてください

単純MRI検査(腹部・骨盤部以外)・・・食事・飲水制限なし

単純MRI検査(腹部・骨盤部)・・・検査4時間前から絶食。水・お茶なら検査前まで飲水可能。

MRCP検査(上腹部MRI+MRCP)・・・検査4時間前から絶食。水・お茶なら検査2時間前まで飲水可能。

造影MRI検査(部位に関わらず)・・・検査4時間前から絶食。水・お茶なら検査前まで飲水可能。